

埼玉県立文書館 令和8年度企画展**「札所巡りの旅—秩父巡礼と午歳総開帳—」を開催します**

県立文書館では、6月6日（土曜日）から9月6日（日曜日）まで、企画展「札所巡りの旅—秩父巡礼と午歳総開帳—」を開催します。

観音霊場を巡る巡礼は、観音信仰の流行や旅に出やすい環境が整備されたことなどを背景として、江戸時代には庶民層へ広がり、大いに賑わいを見せました。

埼玉県域にも数々の観音霊場が存在してきましたが、その中でも江戸時代に多くの人々が訪れた霊場に秩父札所（秩父札所34観音霊場）があります。秩父札所は、西国三十三観音、坂東三十三観音と合わせて「日本百観音」を構成する霊場で、関所を越えずに巡ることができるため、江戸の人びとにも親しまれました。

令和8年は、12年に1度、午歳に行われる秩父札所の総開帳の年に当たります。本展では、総開帳の期間（3月18日（水曜日）～11月30日（月曜日））に合わせ、主に当館収蔵資料を用いて、秩父札所と巡礼の歴史をたどります。

1 展示概要

- (1) 会 期 令和8年6月6日（土曜日）から9月6日（日曜日）まで
- (2) 会 場 県立文書館（さいたま市浦和区高砂4-3-18）
- (3) 主 催 県立文書館
- (4) 後 援 秩父市教育委員会、小鹿野町教育委員会、皆野町教育委員会、横瀬町教育委員会（予定）
- (5) 休 館 日 毎週月曜日
国民の祝日（8月11日（火曜日））
館内整理日（6月30日（火曜日）、7月31日（金曜日））
- (6) 開館時間 午前9時から午後5時まで
- (7) 観 覧 料 無料
- (8) 交通案内 JR浦和駅西口下車徒歩15分、JR中浦和駅下車徒歩18分

2 展示構成

プロローグ 観音信仰と札所巡り

古来、観音（観世音）菩薩は現世での利益や来世での救済を与える仏として、篤い信仰を集めてきました。石山寺（滋賀県大津市）や清水寺（京都市）など、近畿地方を中心とする33の札所（観音霊場）を巡る西国巡礼は平安時代の末頃に始まり、関東地方でも鎌倉時代になると、長谷寺（神奈川県鎌倉市）や慈光寺（ときがわ町）など33か所を巡る坂東巡礼が成立したとされます。これらは後に、34か所の秩父札所と合わせて「日本百観音」と総称されるようになります。

【主な展示史料】

- ・西国順礼道中絵図（戸谷家文書4368）
- ・[坂東三十三所順礼之略ゑんぎ]（黒田(小)家文書648）

第1章 秩父札所と巡礼の成立

秩父札所は、文暦元年（1234）に「十三権者」、すなわち13人の神仏・皇族・高僧らが開創したと伝えられています。第32番札所の法性寺（小鹿野町）には長享2年（1488）の札所番付が現存しており、この頃までには33か所の札所と巡礼が確立していたと考えられています。秩父巡礼の成立には、秩父地方の有力な領主であった丹党武士団や、熊野三山（和歌山県）の修験者らが関わっていたとみる説が有力視されています。

【主な展示史料】

- ・[聖護院門跡秩父六十六郷熊野参詣先達職二付御教書]（相馬家(旧山本坊)文書704）
- ・[秩父三十四寺順礼先達十三人像]（川田氏収集文書1730）

第2章 秩父巡礼の変遷と繁栄

当初、秩父郡大宮郷（現秩父市）を起点とする33か所の巡礼として形成された秩父巡礼ですが、16世紀には西国・坂東の観音霊場との一体化を図って34か所となりました。16世紀末～17世紀頃には、順路も江戸からの巡礼者に都合の良い現在の番付へと大幅に変更されたと考えられています。江戸時代には江戸町民による巡礼が増加し、秩父札所は大いに繁栄しました。

【主な展示史料】

- ・ちちぶ三十四所順礼道案内絵図（武笠(昇)家文書264）
- ・納経帳（白岡市指定文化財 鬼久保家文書3382）
- ・秩父廿八番石龍山橋立寺奥院岩窟絵図（青木家文書8703）

第3章 巡礼の道と人びと

秩父札所を巡る道は、「秩父巡礼道」と呼ばれています。江戸時代の人びとは、その道筋や宿泊地、茶屋での休憩など、巡礼の旅の記録を「道中記」に書き記しました。道

中での旅費の出納を記録した帳簿なども遺されており、当時の巡礼の様子を具体的に知ることができます。

【主な展示史料】

- ・ [秩父郡寺尾村絵図] (熊谷市指定文化財 根岸家文書4996)
- ・ 乍恐以返答書奉申上候(比企郡名主年寄百姓より秩父坂東順礼旅人馬駕籠継合之義差障り候様申立候ニ付) (小野氏収集文書372-3)
- ・ 信州善光寺秩父三十四番順礼道中記 (さいたま市指定文化財 武笠(寛)家文書54)

エピローグ 明治以降の秩父札所と午歳総開帳

明治時代になると、廃仏毀釈などの影響で、秩父札所は一時衰退を余儀なくされました。しかし昭和時代に入り、鉄道の発達や札所寺院の努力を背景として、秩父巡礼や午歳の開帳が復興していったと言われています。現在では札所やその寺宝などは文化財として評価され、秩父巡礼や午歳総開帳は秩父地域、ひいては埼玉県の大きな観光資源ともなっています。

【主な展示史料】

- ・ 社寺戸籍部 史蹟名勝天然記念物調査報告書 (埼玉県行政文書 15024)
- ・ 秩父の旅(秩父鉄道路線図、時刻表他) (古沢家文書 2386)
- ・ 秩父観音霊場巡礼 秩父市 (戦後報道写真 S510227-004)

主な展示資料



[聖護院門跡秩父六十六郷熊野参詣先達職二付御教書] (相馬家(旧山本坊)文書 704)



ちちぶ三十四所順礼道案内絵図 (武笠(昇)家文書 264)



納経帳(白岡市指定文化財 鬼久保家文書 3382)



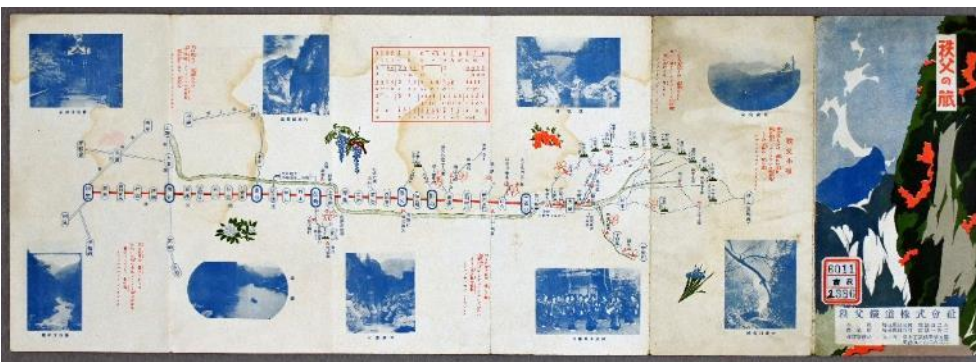
信州善光寺秩父三十四番順礼道中記 (さいたま市指定文化財 武笠(寛)家文書 54)



[秩父郡寺尾村絵図] (熊谷市指定文化財 根岸家文書 4996) ※部分



乍恐以返答書奉申上候(比企郡名主年寄百姓より秩父坂東順礼旅人馬駕籠継合之義差障り候様申立候二付) (小野氏収集文書 372-3) ※部分



秩父の旅(秩父鉄道路線図、時刻表他) (古沢家文書 2386)



秩父観音霊場巡礼 秩父市 (戦後報道写真 S510227-004)